

第343号

こうげん

**2023年
8月号**

発行：高原公民館(〒696-0406 邑南町高見3014-3) TEL 0855-84-0521 IP 050-5207-5500

→ 力強い演奏を聞く来場者のみなさん



ふれあいコンサート
を開催しました！

7月29日(土)に、4年ぶりとなるふれあいコンサートを開催しました。今年度は瑞穂中学校吹奏楽部の皆さんを招き、コンクールに向けた練習を重ねられた課題曲含む6曲を演奏していただきました。いずれの曲も滑らかに、テンポよくリズムカルに、強弱のメリハリ・・・どれを取っても耳が心地よく、胸が熱くなるような演奏を聞かせてくださいました。ふれあいコンサートの様子には、公民館入口にてしばらく公開予定にしていただきますので、お近くに来られた際はぜひ映像でコンサートの様子をお楽しみください。

そば粉でガレット作りましょ♡ を開催しました

7月21日(金)に、午前・午後の部に分けてガレットづくりを行いました。ガレットとはそば粉を用いたクレープのことで、そばの香りともちもちとした食感が楽しめる食べ物です。

当日は総勢18名の参加があり、生地分量を量って混ぜたり、乗せるフルーツをカットしたり…生地は各自で焼いてトッピング★おいしい！と食べてくれました。

…実はこのそば粉は、昨年末のふれあいそば打ち教室で余ったものを利用していました(;^ω^)今年のそば打ちにも多くの方の参加をお願いします♪



平和学習会

「みのりさん」といっしょ を開催しました

7月25日(火)に、「みのりさん」といっしょを開催しました。この事業は、戦争をテーマにした絵本の読み聞かせを聞くことや、戦争に関する展示物を見ること、千羽鶴を折ることで、戦争とはどんなものだったのか、現在の平和な日常を大切にしてもらいたいこと、平和な世の中になるように自分にできることは何か考えてもらうことを目的としています。

当日は、読み手である高原公民館事務員のみのりさんに町立図書館にある戦争に関する絵本や資料を選んでもらい、原爆の性質や、体験談等を読み聞かせしてもらいました。読み聞かせの後には、平和記念公園へ持っていくために一羽一羽ていねいに想いを込めて鶴を折りました。参加してくれた方からは、「戦争のひどさが分かった」「世界が平和になるように幸せを祈りたい」等の感想が聞けました。



↑ 展示を見ながら戦争を学ぶ参加者



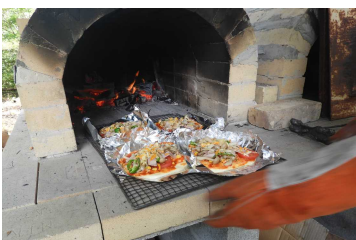
↑ 平和を願って…

蟠龍峡公園デイキャンプ を行いました

7月27日(木)に、比之宮公民館(美郷町)・布施公民館・高原公民館の3公民館で、デイキャンプ事業を行いました。

各公民館をバスで出発し、会場の美郷町の蟠龍峡公園にて、テントを立てたり火起こししたり、昼ごはんを調理したり、川遊びをしたりと…なんと盛りだくさんな内容となっていました。開催日はめっちゃくちゃ天気がよく、主事は暑さでもうヘトヘト(;^_^A

子どもたちの元気な姿に癒される…余裕はなく、はしゃぐ姿をじっと拝見させていただきました(笑)美郷・邑南の子どもたち同士もすぐに仲良くなった姿は見習わねばと思いました。



↑ 窯焼きピザが絶品！



→ リボンの結び方を学びます



シトラスリボンづくり を開催しました

8月9日(水)に、年齢などあらゆる属性にとらわれない居場所事業を営むコミュニティ・ボンズさんと邑南町社会福祉協議会さんと合同で、新型コロナウイルス感染者への偏見や差別をなくす活動のシンボルであるシトラスリボンを作成しました。この事業には高原地区内外から17名の参加がありました。

はじめに社協の地域福祉課柘植さんより福祉とはなにか、みんなが幸せになるために自分にできることはなにかのお話があり、参加者のみなさんも熱心に聞いていました。

トイレ休憩のあと、コミュニティ・ボンズのみなさん、社協のみなさんと一緒にシトラスリボンを作りました。最初はなかなかリボンを作るのが難しく、頭上に「？」がたくさん出ている雰囲気包まれていましたが、慣れてくるとすいすいとリボンが出来上がる・・・すぐ材料がなくなってしまうほど。町内で少しずつ再流行の兆しが見える中、温かい気持ちで「おかえり」が言える地域でありますように・・・

8月9日(水)に、年齢などあらゆる属性にとらわれない居場所事業を営むコミュニティ・ボンズさんと邑南町社会福祉協議会さんと合同で、新型コロナウイルス感染者への偏見や差別をなくす活動のシンボルであるシトラスリボンを作成しました。この事業には高原地区内外から17名の参加がありました。

はじめに社協の地域福祉課柘植さんより福祉とはなにか、みんなが幸せになるために自分にできることはなにかのお話があり、参加者のみなさんも熱心に聞いていました。

たかはらの 国際交流会を 行います

今回のテーマは「生春巻きをつくろう!」です。町内在住のベトナム出身の方と一緒に生春巻きを調理して食べましょう。食や会話を通じて外国との文化や考え方の違いや、日本で困っていることなどを知り、理解を深めましょう。

日時 令和5年9月2日(土)
午前10時～午後2時
(会場) 高原公民館ホール

内容 生春巻きの調理と実食
外国についてのお話

参加費 ひとり500円



茶器をご寄贈 いただきました

荻原集落の服部克枝さんと服部久枝さんより、公民館の抹茶教室にお茶道具を寄贈していただきました。学校茶道や藤見のお茶会などで大切に使用させていただきます。
ご寄贈いただきありがとうございました。



よつちゃん館長のくわらわの頃

毎日、毎日暑い日が続きますねえ。皆さん水分とっていますか？のどが渇かなくても定期的に水分をとり、適度に休憩するようにして熱中症に気をつけましょう！新型コロナウイルス感染が少しずつですが増加しているようですが、二度と以前のような行動制限などが起こらないように感染対策を取りながら過ごしましょう。

私たち夫婦は今年古希を迎えました。お盆には子どもや孫たちが勢ぞろい。これまでコロナウイルス感染防止のため帰省できなかったのですが、今年は賑やかなお盆となりました。驚いたのはサプライズで古希のお祝いをしてくれたことです。紫のちゃんちゃんこや頭巾、扇子を着せてもらって、子どもたちからのお祝いのことは、孫たちからお祝いの手紙をいただき、私たち夫婦は全く予想もしてなかったので感激の涙、涙・涙・涙。料理も何もなくていいということ、子どもたちが全部準備してくれました。みんなで記念の写真を撮ったり、お話をしたりと楽しい一夜となりました。

高海自治会の盆踊りも4年ぶりに開催となり、子どもや孫たちと参加しました。

妻と孫は仮装踊りにも参加。孫は古希の祝いにももらったちゃんちゃんこ頭巾をかぶり、杖をついておばあさんの仮装で1位、妻は友達と一緒に七福神の仮装で

2位、従弟の子は怪獣の仮装で3位となりました。久し振りの盆踊りとなりゲームやバザーなどで多くの皆さんに参加いただき、賑やかな楽しい盆踊りとなりました。皆さんの地域ではいかがでしたか？やはり地域みんなが参加される行事は活気があって楽しいものだと思えて感じました。

さあ、盆が終わると稲も黄金色に実り忙しい稲刈りの時期となります。豊作を楽しみに頑張りますように。我が家の稲は傾き始めました。



高原地区の人口と世帯数

令和5年7月末現在(前年同月)

男性	376人	(387人)
女性	396人	(416人)
合計	772人	(803人)
世帯数	350世帯	(356世帯)
高齢化率	47.66%	

今月は事業のラッシュだったのでこうげんのスペースが足りない...!?

次はのんびりと秋に向けて季節を感じられる事業の企画を...今後も楽しみにしててください！

